

「第15回 浜松市調べ学習コンクール」審査結果について

中央図書館

1 開催趣旨

図書館の本やインターネット等様々な情報を使って、日常生活や学習上の疑問点を考え、解決を導く「調べ学習」の研究レポートを募集し、その努力や工夫を評価することで、調べ学習の振興を促す。これにより、小学生の「問題発見・解決能力」や「情報活用能力」等、新しい時代に求められる資質・能力を養うとともに、図書館利用の促進を図る。

2 主 催 浜松市、浜松市教育委員会

3 後 援 公益社団法人浜松青年会議所、公益財団法人図書館振興財団

4 対 象 浜松市内の小学3～6年生

5 審 査 員 浜松市退職校長親和会及び主催、後援団体から選出した13人
(うち一人は審査委員長)

6 応募数

(1) 応募学校数 88校

(2) 応募点数 2,369点

学 年	応募人数
3年生	319人
4年生	603人
5年生	686人
6年生	761人

7 表 彰

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞 各1人

優秀賞 各学年2人 計 8人

優良賞 各学年3人 計12人

奨励賞 各学年5人 計20人

学校賞 5校

8 表 彰 式

(1) 日 時 令和5年11月3日(金) 午前10時～11時

(2) 会 場 浜松市立中央図書館 大会議室

9 作品傾向

- ・国際理解や地理（SDGs、特定の都道府県の特徴や特産品、特定の国の歴史や暮らし）
- ・自然、災害、防災（環境問題、身近な植物、鉱物、宇宙、星座、地震）
- ・郷土関係（徳川家康、浜松城、お茶、うなぎ）
- ・歴史と文化（戦争、歴史上の人物、各地の史跡）
- ・生き物（昆虫、ネコ、犬、恐竜）
- ・からだや病気（筋肉、睡眠、食物アレルギー）
- ・社会と福祉（ユニバーサルデザイン、ヘアドネーション、特定の職業について）

10 全国コンクールへの出品

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞、優秀賞、優良賞の計23点は、全国コンクールに出品。

上位三賞受賞作品のあらましと評価について

市長賞

作品名「**ぼくが速く走るには一持久走がきついわけー**」

浜松市立東小学校 5年 渡辺 帆純

(作品あらまし)

昨年の調べ学習で自分の体の骨の持つ力について知った。今年は、体の他の部分も調べることで持久走がきつくなる原因を解消し、もっと速く走れるようになりたいと思い、調べ学習のテーマとした。筋肉には短距離・長距離に適した2種類があることや、心臓と肺の機能を本で調べた後、脈拍数の変化・ニワトリの心臓の解剖・肺の模型作りの実験へと進む。また、ナショナルトレーニングセンターでの見学や体験を経て、強い体づくりのための食事管理の必要性などを知る。調べたことを練習に取り入れ、タイムを縮めることに成功した。

(評価)

調べていくうちに興味が広まり深まっていく。うわさの検証や実験を行っているのもよい。過程ごとで自分の考えが書かれており、思考の流れがよくわかる。

教育長賞

作品名「**一騎討ちから考える 川中島合戦の真実**」

静岡大学教育学部附属浜松小学校 5年 堤谷 柚希

(作品のあらまし)

昨年、伊能忠敬について調べたことで歴史が好きになり、戦国武将の本を読む中で、武田信玄に興味をもったことが調べ学習のきっかけ。上杉謙信との第1次～第5次に渡る川中島の合戦についてまとめ、両者による一騎打ちが本当にあったのかという疑問点が生まれる。複数の資料を比較し、自分なりの考えを導き出し、詳しい人にインタビューすることで結論へと到達した。実際に合戦が行われた地を訪れることで学びを深めており、膨大な資料を参考にしながらもわかりやすいレイアウトでまとめあげた作品。

(評価)

多くの資料を読み込み、調べたこととインタビューしたことを用い、自分なりに歴史の真実にせまろうとしている点がよい。両武将の視点の比較や、章に分けてのまとめがとてもわかりやすい。

中央図書館長賞

作品名「**新渡戸稲造博士からの謎の手紙**」

浜松市立内野小学校 6年 田中 美結

(作品のあらまし)

高祖母の家で見つけた封筒の中から、差出人に新渡戸稲造と書かれたたくさんの手紙が出てきた。歴史上の人物からの手紙がなぜ高祖母の家にあるのか。その人物像や著書「武士道」で示されている日本人の道德観を調べた後は、青森の新渡戸記念館を訪れ、手紙の解説を試みる。手紙の内容から高祖母が稲造と親しい間柄であったことを知り、別の著書に登場する女性と高祖母が同一人物ではないか、とさらに調査を進める。自分のルーツに繋がる題材で、調べる過程や感動が丁寧にまとめられている作品。

(評価)

調査対象が大変貴重なものである。手紙の解説に取り組むなど、深い調査に支えられた作品となっている。調べる過程を経て自分なりの解決をしており、作品作りを通じて作者自身が成長したことが感じられる。